

第 8 回全ウクライナ国際公開シンポジウム・第 15 回ウクライナ日本語教育セミナー
2016 参加申込書

Application / Registration form for (Paper) Presentation

The 8th Ukraine International Conference and 15th Ukraine Japanese Language Education Seminar

氏名 Name :	ふりがな (日本語)	
	(In English)	
国籍 Citizenship :		
住所 Address :		
Tel :		
Fax :		
E-mail :		
所属機関 Organization :	名称 : Name	
	役職 : Your position	
<p><参加日を <input type="checkbox"/> で囲んでください。></p> <p>A 参加日 I will attend on a. 3 月 18 日 (金) 18 March b. 3 月 19 日 (土) 19 March</p>		
<p><キエフ以外のウクライナ国内からご参加のウクライナ日本語教師会会員のみご記入下さい></p> <p>・最寄駅からキエフまでの経済的な経路 (例: プラツカルト) での往復交通費 _____ UAH ※交通費の支給対象は日本語教師会会員で、2 日とも参加する方のみです。</p>		
<p><キエフ以外 (国外も含む) からご参加で研究発表予定の方のみ、a, b いずれかを <input type="checkbox"/> で囲んでください></p> <p>B 宿泊 a. ホテルの宿泊を希望する accomodation b. ホテルに宿泊しない</p> <p> ※18 日 (1 泊分) のみ、助成金より支払われます。その他の日をご希望の場合、 ご自身で手配願います。 ※シンポジウムで発表する、研究教育機関の教員・研究者を優先します。 <u>宿泊のご提供をお約束するものではありません。</u></p>		
<p><発表希望いずれかを <input type="checkbox"/> で囲んでください。></p> <p>C 発表希望 Do you want to read your paper ? : a. 希望する Yes b. 希望しない No</p>		
<p><発表希望する方は、以下の内容をご確認の上、次のページに発表内容をご記入ください。></p> <p>※1 発表の申し込み締め切りは 2016 年 2 月 22 日 です。</p> <p>Deadline for conference presentation : 22 Feb 2016 .</p> <p>※2 研究発表は基本的に 18 日の分科会、日本語教育の実践報告は、19 日です。日本語教育分野の研究発表申込状況によって、18 日分科会にご参加いただく場合もあります。</p>		

<研究発表希望者は、以下をご記入ください。>

(日・宇・露・英語のいずれか *Conference languages: Japanese, Ukrainian, Russian, English*)

発表を希望する分科会 a. b. c. のいずれかを で囲んでください。

a. 日本語学 b. 日本文学 c. 日本語教育学

タイトル *The Title of your presentation:*

※日本語以外で発表の方は、題目の日本語訳を併記してください。 *If you make your presentation in Ukrainian, Russian or English, please put down with the Japanese translation of the title.*

要旨 *Summary*

※Word で日本語の場合 200 字程度、その他の言語の場合、同程度の長さで作成、ご提出ください。

Please submit a summary about 200 letters in Japanese, or the same volume in other language by Word.

必要機材 *If you wish to use special presentation equipment including Projecter, state in the following space :*

【発表】 申込締め切り Deadline of presentation : 2016年2月22日 (22 Feb 2016)

【参加のみ】 申込締め切り Deadline of participation only : 2016年2月29日 (29 Feb 2016)

返送先 Return to : コミサロフ・コスチャンティン Komisarov Kostiantyn

japanconf@gmail.com (日本語可)